

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立大江小

学校

児童数

528

平均値

| 5年生 | 握力 | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20m シャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび | ソフトボール 投げ | 体力合計点 |
|-----|-------|-------|-------|-------|---------------|------|--------|--------------|-------|
| 男子 | 17.39 | 19.27 | 33.89 | 40.86 | 46.10 | 9.66 | 145.00 | 20.09 | 52.00 |
| 大阪市 | 15.70 | 19.17 | 33.01 | 38.63 | 45.42 | 9.52 | 148.43 | 20.76 | 51.54 |
| 全国 | 15.96 | 19.46 | 33.88 | 40.89 | 47.94 | 9.46 | 150.93 | 21.06 | 53.02 |
| 女子 | 16.68 | 21.77 | 41.32 | 40.73 | 39.45 | 9.80 | 137.05 | 12.61 | 56.21 |
| 大阪市 | 15.40 | 18.33 | 37.58 | 36.86 | 35.15 | 9.83 | 139.41 | 12.67 | 52.58 |
| 全国 | 15.61 | 18.36 | 38.15 | 38.70 | 36.85 | 9.77 | 142.34 | 13.11 | 53.97 |

結果の概要

今年度、男子では握力、長座体前屈で大阪市、全国の平均を上回った。他にも大阪市の平均を上回る種目は多いが、全国には届かない状況である。特に立ち幅跳びやソフトボール投げで数値の差がみられた。女子では握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルランで大阪市、全国の平均を上回った。他にもほとんどの種目で大阪市の平均を上回る結果となった。このことにより、体力合計点は（表右記）男子、女子ともに大阪市の平均を上回ることができた。

児童質問紙での「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目で肯定的な回答の割合は、男子は97.9%で全国（93.2%）、大阪市（93.5%）の結果を上回った。また、女子の肯定的な回答の割合は97.5%で全国（85.8%）、大阪市（85.0%）の結果を上回った。

1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子は4.9%で全国（9.8%）、大阪市（11.7%）の結果を下回った。女子は28.2%で全国（17.3%）、大阪市（20.0%）の結果を上回った。（※数値が低いほうが60分以上体を動かしている児童が多いという結果となる）

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

5年では体育科を専門とする教員を中心として学年全体の授業計画や構成を行ってきた。児童が自分で学習計画を考え、話し合いや振り返りを通して改善を行うといった流れが定着してきている。その結果、体育科の学習に興味・関心をもち、主体的に学習に取り組む児童の姿が多くみられた。

また、児童質問紙の「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目の結果にも表れているように運動やスポーツを行うことに対して肯定的に回答している数値が高いことはその成果であると考えている。その反面、「1週間の総運動量が60分未満」の項目では特に女子において全国や大阪市の平均値より高い数値となっており、学校外での生活において十分に運動やスポーツに親しむことができていない実態もみられる。

今後は学校での取り組みを日々の生活でも活用できるような指導の工夫を行っていくとともに平均値にもみられるように全国、大阪市の数値を下回っている種目については授業の中でも意識して取り組み、技能面の向上を図れるよう取り組みを工夫していく。